新事業創出部会｜本部会（全3回）の狙いとロードマップ

第2回新事業創出部会では、第1回部会で抽出されたコールドチェーンの事業者課題を踏まえつつ、競合ベンチマークも含めて解決の方向性案について共有を行い、今後の取組方向性を議論する

新事業創出部会 全3回の想定アジェンダ

	第1回 7月24日(金)	第2回 10月27日(火)	第3回 1月22日(金)
目的	• 概況・課題の共有 • 事業者の課題・ニーズの把握	• 課題解決の方向性検討 • 事業者間の連携促進	• 官民の役割整理 • 今後のアクションの検討
アジェンダ	1. 部会の目的・進め方の共有 2. 情報提供（コールドチェーン概況・課題の共有、国の支援施策や事例の共有） 3. ディスカッションセッション（コールドチェーンの課題・ニーズの抽出に資するテーマ）	1. 前回の振り返り・本日の論点整理 2. 情報提供（競合ベンチマーク調査等を踏まえた課題解決の方向性、取組紹介など） 3. ディスカッションセッション	1. 前回の振り返り・本日の論点整理 2. 情報提供（課題解決に向けた官民の役割・推進体制 など） 3. ディスカッションセッション
調査・検討事項	テーマ概況・トレンド把握 • 公開情報調査をベースとして、各テーマの主要トレンドを調査 • 海外調査の実施（ミッション派遣等との連携を想定） • 事業者ヒアリング	個別テーマの深堀① • 海外調査（競合ベンチマーク）の実施 • 事業者ヒアリング	個別テーマの深堀② • 公開情報調査 • 事業者へのヒアリング • 第1,2回を通した示唆導出

部会でのディスカッションやヒアリング等を通してニーズを把握

部会でのディスカッションやヒアリング等を通してニーズを把握

今回の範囲

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

頂いた意見も踏まえつつ、特に優先的に取り組むべき領域として、「①物量確保」「②ラストマイル構築」「③新たな技術活用」の3点を主として、検討の推進を想定

コールドチェーンに係る主な課題例

コスト（採算性確保）	物量の不足
	高コスト体質
	投資リスクの高さ
品質（SCの構築）	ラストマイルの未整備
	結節点での断絶
	技術・ノウハウの不足
納期	通関手続きの遅延と不確実性
	インフラ起因の遅延（交通渋滞や港湾の混雑等）
	技術・ノウハウの不足
その他	優位性確立に向けた技術の活用

本年度検討方針

①物量確保

【課題】
- 単独で荷量確保が困難であり、採算性確保がボトルネック

【取組方向性】
- 共同輸送スキームの構築　等

②ラストマイル構築

【課題】
- 小口配送となるラストマイルの冷凍・冷蔵配送網が未整備

【取組方向性】
- 保冷ボックス等の活用による品質担保　等

③新たな技術活用

【課題】
- 上記課題解決や日本産品の優位性確立に向けて、冷凍・冷蔵技術の活用が期待

【取組方向性】
- 冷凍・冷蔵技術（フードテック）活用による、保存期間延長・荷量集約　等

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

第2回新事業創出部会｜アジェンダ

プログラム（進行内容）	想定時間
1. 冒頭挨拶 ・開会の挨拶（農林水産省 大臣官房審議官　田中英治）	5分
2. 情報提供 ・第1回部会の振り返りと本日の論点整理 （野村総合研究所アーバンイノベーションコンサルティング部　プリンシパル　永島裕理） ・外資系企業に見るコールドチェーン構築のポイントと我が国の取組方向性 （野村総合研究所アーバンイノベーションコンサルティング部　プリンシパル　永島裕理） ・冷凍技術の国際標準化タスクフォースの取組 （大臣官房新事業・食品産業部新事業・国際グループ長 朝比奈祥子）	40分
3. 参加者間のディスカッション 【テーマ①】物量確保に向けた取組方向性 【テーマ②】ラストマイル構築に向けた取組方向性	60分
4. 講評 ・講評（グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会副代表　篠崎聡） ・第3回に向けてのご案内	10分

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.